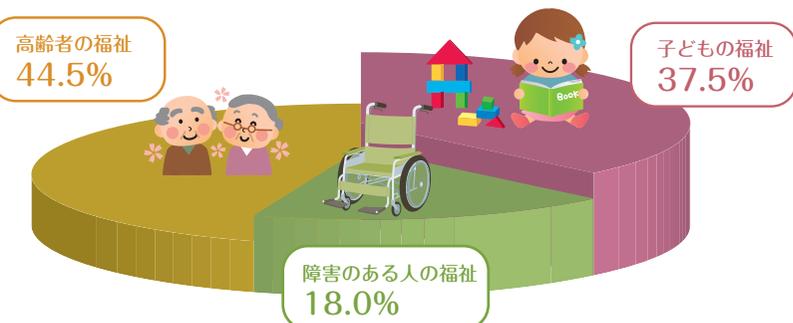


皆様からのご寄付は以下のような事業に使われました。

(2016年度社会福祉事業費用、東日本大震災救援事業を含みます)



この他 公益事業としてガイドブックやDVDの発行  
福祉啓発事業なども行っています。

事業総額 1億 3722万円

ご寄付やお問い合わせ

朝日新聞厚生文化事業団の社会福祉事業は皆様からのご寄付で実施されています。寄付者名・団体名は朝日新聞の地域面に掲載します(千円以上。匿名扱いもできます)。

- 郵便振替 「寄付専用」郵便振替用紙をお使い下さい。お手元がない場合は、当事業団が払込料金を負担する振替用紙をご請求ください。または、口座番号「00130・1・9166」(加入者名=朝日新聞厚生文化事業団、通信欄に「寄付」、領収書不要の場合はそのように明記)までご送金下さい。
  - 銀行振り込みやクレジットカードによるご寄付も、事業団ホームページから手続きができます。
  - 現金受付 朝日新聞本社内の厚生文化事業団窓口(平日午前10時~午後5時30分)や朝日新聞の各総局などで受け付けています。
- ※寄付金控除 当事業団へのご寄付は個人の場合、所得控除と税額控除の二つの寄付金控除のいずれか有利な方をお選びいただけます。この優遇を受ける場合、確定申告をしていただく必要があります。相続税が非課税となる遺贈・遺言のご相談も事業団へお問い合わせください。
- 事業団ホームページから2016年度の事業報告書をダウンロードできます。より詳しい事業内容をお知りになりたい方は、そちらをご覧ください。

本部(東京)

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2  
TEL 03(5540)7446 FAX 03(5565)1643

大阪事務所

〒530-8211 大阪市北区中之島2-3-18  
TEL 06(6201)8008 FAX 06(6231)3004

西部事務所

〒812-8511  
福岡市博多区博多駅前2-1-1  
TEL 092(477)6930 FAX 092(477)6931

名古屋事務所

〒460-8488 名古屋市中区栄1-3-3  
TEL 052(221)0307 FAX 052(221)5453

朝日新聞厚生文化事業団ホームページ

<http://www.asahi-welfare.or.jp/> E-mail [mail@asahi-welfare.or.jp](mailto:mail@asahi-welfare.or.jp)



グリーンキャンプをハワイで満喫  
キャンプホクレレ  
in HAWAII 2017

震災で大切な人を亡くした子どもたちが、自分の内面にあるグリーフ(喪失・悲嘆)に向き合うことに寄り添う4泊5日(現地3泊4日)のグリーンキャンプを、2017年3月末から4月にかけて米国ハワイ州で実施しました。

●ホクレレに込めた思い

「ホクレレ」はハワイの言葉で「流れ星」を意味します。震災で大切な人を失いグリーフを抱えながら生きる子どもたちの願いが少しでも叶うようにと、「流れ星に願いを」の思いにちなんで名付けました。ハワイキャンプは前年の2016年3月に44人で第1弾を実施。予想を大きく超える124人もの応募があり、残りの80人はやむなくお断りすることとなりました。今回はその中から震災で親や兄弟・姉妹を亡くした小学校4年生から中学校3年生の20人が参加しました。



●星空のもとでトーキングタイム

2日目の夜。無数の星が光り輝く夜空の下でグリーンプログラム「トーキングタイム」を行いました。ハワイの子どもたちも交えて、大切な人を亡くした時の気持ちや、その人との思い出などを話します。言葉につまり、涙する子もいましたが、仲間とそれぞれの経験や想いを共有できたことについて「最初は話すことに抵抗があったけど、話し終わったらみんな抱きあって、頑張ったねと励まし合った」「話をしてスッキリした」などといった声を多くの子どもたちから聞くことができました。終了後には「ハワイの子どもたちと仲良くなれた。遠いけどこれからも繋がっていると思う」「今度は日本に招待して恩返ししたい」などハワイの人たちへのお礼の言葉がたくさん寄せられました。



平成28年度 朝日新聞厚生文化事業団事業報告

社会福祉法人  
朝日新聞厚生文化事業団  
<http://www.asahi-welfare.or.jp/>



●大自然の中でのあそびとグリーン

現地では昨年に引き続き、グリーンサポートの拠点キッズ・ハート・トゥー・ハワイの全面的な協力のもと、キャンプを行いました。カヌーやシュノーケリングで海で遊んだり、ウクレレ、フラダンスなどの芸術にふれたり、シーライフパークでイルカと触れあったりと日本ではできない盛りだくさんのプログラムを経験しました。「最初はいろんなことを思い出して怖かったけど、とても楽しかった」という子もいて、透き通った青い海に入って笑顔を見せていました。





# 朝日の社会福祉だより

## ●震災・災害救援事業

朝日新聞厚生文化事業団は、関東大震災の被災者救援をきっかけとして設立された団体です。災害復興支援は、いまも事業の大きな柱となっています。

### ■朝日のあたる家

震災被災地の岩手県陸前高田市に建てたコミュニティハウス「朝日のあたる家」で、親子の交流会や認知症カフェ、介護予防教室といった多彩なプログラムを実施しました。



### ■被災地ビジット

震災被災地の学校や老人ホームなどに、コンサートや歌やマジックなどを届ける事業を続けています。



### ■熊本地震

4月に熊本県を中心に発生した熊本地震の被災者のために、朝日新聞社と救援金を募りました。朝日新聞社からの500万円を含めて、総件数8856件、総額2億2221万

509円(2017年3月末現在)に上り、全額を日本赤十字社本社に送りました。



## ●子どもの福祉

### ■朝日こどもの貧困助成

およそ6人に1人の子どもが貧困状態と言われる現状を受け、16年度新たに「朝日こどもの貧困助成」を実施しました。子どもの貧困に取り組む全国10団体に合計約1000万円を贈呈し、2017年3月にシンポジウムを開きました。



### ■児童養護施設・里親家庭の高校生進学応援金

児童養護施設や里親家庭から大学や専門学校への進学を目指す高校生に応援金を贈呈しています。16年度は従来行っていた入学金に加えて、年間60万円(最大240万円)を卒業するまで贈ることになりました。この事業はご寄付と山岡こども応援資金、原田積善会のご協力で行っています。

### ■朝日夏季保育大学

保育従事者の技術と教養の向上を目的に、1954年から長野県諏訪市で催している息の長い事業です。保育士などのべ約700人が参加しました。



### ■親子で楽しむクリスマスコンサート

あそびうたや踊りで、子どもも大人も楽しめる愉快的ステージを東京・有楽町朝日ホールで開催。16年は中川ひろたかさんが結成した新ユニット『お〜笑い3人組』が出演しました。



## ●多彩なチャリティー事業

### ■朝日チャリティー美術展

全国の芸術家や著名人など約2700人から寄贈された作品約3800点を販売する「朝日チャリティー美術展」を名古屋、大阪、東京で開催しました。



## ●高齢者の福祉

### ■ADI国際会議プレイベント

2017年4月に京都市で開催された「第32回国際アルツハイマー病協会(ADI)国際会議」のプレイベントとして、認知症対策が進んでいる英国と日本をネット中継で結んだシンポジウムを大阪と東京で開きました。



### ■認知症カフェ開設応援助成

16年度に「ともにつくる認知症カフェ開設応援助成」を新たに創設し、全国の24団体に計約2000万円を贈呈しました。

### ■世代間交流「グラン・チャ・プロジェクト」

高校生とシニアが里山生活体験活動を通して相互に学び合う「世代間交流プロジェクト」を、大阪YMCAと事業団の主催で7月と8月に大阪で開催しました。



### ■認知症カフェ開設講座

認知症カフェの意義や運営のポイントなどを学ぶ講座を仙台市、札幌市、広島市で開催しました。

### ■ゆうゆうビジット

お相撲さんによるちゃんこ鍋やコンサートなど、全国の高齢者施設に憩いのひとときを届けるイベントです。16年度からバイオリニストなどで構成する「バルリントリオ」が加わって7チームで23施設を訪問しました。



### ■メサイア演奏会

東京芸術大学の全面的な協力のもとヘンデルの「メサイア」を演奏するチャリティーコンサートを東京・上野の東京文化会館大ホールで開催しました。1951年から続いており66回目となりました。



## ●障害のある人の福祉

### ■全国高校生の手話によるスピーチコンテスト

手話の普及と福祉教育の推進を目的にしたコンテストです。熊本地震で体験した恐怖と不安を訴えた熊本県立阿蘇中央高校2年の井麻優香さんが一位に輝きました。



### ■自閉症カンファレンスNIPPON

自閉症の人たちの支援会議を早稲田大学で開催しました。



### ■高次脳機能障害講演会

交通事故や病気で脳を損傷した高次脳機能障害の人たちを支援する講演会活動に取り組んでいます。



### ■うつ病の講演会

漫画「ツレがうつになりまして。」の作者を招き、うつ病の本人や周囲の人にできることを考える講演会を福岡で開催しました。

### ■車いすバスケットボール選手権

車いすで行うバスケットボールや、障害に応じて2種類のゴールを使う車いすツインバスケットボールの九州大会を共催しています。



### ■各種ガイドブックやDVDの販売

高次脳機能障害や認知症、うつに関する書籍や自閉症の人たちを支援するDVDなどを作成、販売しています。